

# 若手音楽家による邦楽ユニット「風華～FUGA～」 チリ・アルゼンチン公演 ケーナの名手とも共演

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、7月15日～24日、邦楽ユニット「風華～FUGA～」のチリ・アルゼンチン巡回公演を行います。津軽三味線全国大会 A 級女性部門で最年少優勝を果たした はなわちえ を中心に、辻本好美(尺八)、川村成史(パーカッション)、滝本成吾(キーボード)の若手音楽家 4 名で構成されるグループは、日本の伝統と現代の感性を調和させた演奏を持ち味とし、ブエノスアイレスでは、国際的に活躍するケーナの名手、ラウル・オラルテとの共演も行います。一方、サンティアゴ公演は、チリを代表する総合芸術施設「ガブリエラ・ミストラル文化センター」で開催中の日本フェスティバルのフィナーレとして実施します。

## 公演

7月17日(水) 19:30 於:ガブリエラ・ミストラル文化センター (チリ・サンティアゴ)

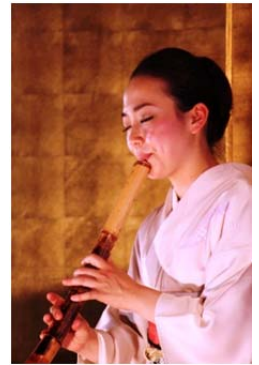
7月20日(土) 19:30 於:アルゼンチン経済産業大学 (ブエノスアイレス)

**ワークショップ** ※アルゼンチンの邦楽奏者向け

7月21日(日) 16:00 於:在アルゼンチン沖縄県人連合会 (ブエノスアイレス)

### ■はなわちえ(津軽三味線) 写真:左上

茨城県出身。9歳から佐々木光儀の下で津軽三味線を習い始め、17歳で津軽三味線全国大会 A 級女性部門に初挑戦。最年少チャンピオンとなる。東京藝術大学音楽学部邦楽科在学中、アルバム「月のうさぎ」(2004年)でメジャーデビュー。以後、都内のライブハウスを中心に、バンド編成による演奏活動をスタート。ヴァイオリンの沖増菜摘とともに和洋ユニット hanamas を、また東京藝術大学の後輩である辻本好美(尺八)、柿木原こう(箏)と和楽器ユニット「結」を結成。皇居内桃華楽堂での御前演奏や、アジア、欧米諸国での海外公演、テレビ CM でも活躍。音楽のジャンルに囚われず、津軽三味線の可能性を積極的に追求している若手実力派アーティストと評価されている。



### ■辻本 好美(つじもと よしみ/尺八) 写真:右上

和歌山県出身。16歳から尺八を始める。東京藝術大学音楽学部邦楽科尺八専攻(琴古流)卒業。在学中、テレビ番組『題名のない音楽会』に出演したほか、米国、イタリアで演奏。2011年、早乙女太一「晩夏の舞」ツアー公演に尺八演奏として参加。東京藝術大学卒業生で結成された、和楽器ユニット「結」や和楽器オーケストラあいおいのメンバーとして、東京を中心に活動を展開中。



### ■川村 成史(かわむら しげひと/パーカッション) 写真:左下

和歌山県出身。中学時代にドラムを始め、大学在学中より本格的に演奏活動を開始。2011年、hanamas の東南アジア・ツアーに参加。2012年、フランスを拠点に国際的に活躍するジャズヴァイオリンの巨匠、フローリン・ニクレスク(Florin Niculescu)の日本ツアーにドラマーとして参加。ジャズをベースに、幅広いジャンルでオールラウンドに活動中。

### ■滝本 成吾(たきもと せいご/キーボード) 写真:右下

群馬県出身。東京音楽大学作曲指揮専攻映画・放送音楽コース卒業。シンセサイザーのインストラクター、ソウルバンド TSUBAKISTA としての活動を経て、作曲家・糸川玲子のアシスタント、武部聡志のシンセサイザー・オペレータほか、サウンドデザインやアレンジ、芸能界から邦楽界に至る様々な有名アーティストのサポートプレイヤーとして活動中。

お問い合わせ：文化事業部 米州チーム 担当：松本  
電話 03-5369-6061